

XLRケーブルの作り方 (NEUTRIK編)

NEUTRIK 製 XLR コネクタは、ITT CANNON 製 XLR コネクタと比べ、

1. コネクタにネジが使用されていないため、分解が容易である。
2. ケーブルに通す部品数が少ない
3. ITT CANNON 製に比べて安価

などの特徴がある。

1. 準備物

- ケーブル、コネクタ
- はんだごて、ピンセット、カッター、ニッパ (またははさみ)

2. 製作手順

1. ケーブル先端の被膜を 2cm 程度取る。
 - シールドを傷めないように注意する。ケーブルを反らせてカッターで切れ目を入れていくと、すぐに切れる。
2. ソケット部分の部品をケーブルに通す (忘れるとやり直し!).



図 1 NEUTRIK 製 XLR コネクタ (上:メス, 下:オス)

3. 編みであるシールドをピンセットでほどく。
4. ケーブル保護用のヒモやカミを切り取る。
5. ほどいたシールド線を 2 つに分けて束ね、そのうち 1 つは切り取る。
 - 熱収縮チューブを付け、先端以外は絶縁する。
6. 銅線を 6~7mm (端子部から銅線がはみ出ない程度に) 露出させる。
7. はんだ付けを行う。
 - 1 : シールド (網線)
 - 2 : ホット (暖色)
 - 3 : コールド (寒色)

同一色の銅線が2本ある場合（4芯タイプ）は、1つにまとめてはんだ付けする。はんだ付けの前に、銅線の先端に衣をつけると、銅線がまとまって作業しやすい。

銅線を露出しすぎると短絡の原因となる。はんだ付けが甘いと接触不良や雑音の原因となるため、しっかり温めてはんだを流し込むこと。

ネジ止めを行って完成となる。

3. ケーブルのテスト

完成したケーブルは必ずテストを行う。端子がぐらついただけで短絡してしまう、あるいは切れてしまうのでは、製作をやり直す必要がある。



PIN 1	-	PIN 1
PIN 2	-	PIN 2
PIN 3	-	PIN 3

以上が正しく接続されていれば OK.

OUTPUT			INPUT	
PIN 3 / RING	PIN 2 / TIP	PIN 1 / SLEEVE		
○	○	●		PIN 1 / SLEEVE
○	●	○		PIN 2 / TIP
●	○	○	PIN 3 / RING	

図 2 ケーブルのテスト (BEHRINGER CT100)

1. ケーブルテストにケーブルを挿しこむ。
2. スイッチを「CABLE TESTER」に合わせる。

図のように、PIN1-PIN1, PIN2-PIN2, PIN3-PIN3 が正しく点灯すれば、ひとまず接続は間違っていない。

3. 「RESET」ボタンを押し、「RESET」ボタン下のランプ 3 つが消灯することを確認する。
4. OUT 側および IN 側の端子や根元をぐらつかせる。

「RESET」ボタン下のランプが 3 つともつかなければ端子の短絡もなく、ケーブルは完成となる。